

境木保育園		29年度	6月指導計画（ 3歳児）	いちご組	園長印	担任 浅井
子どもの様子		ねらい		行事	自己評価	
・子ども同士のかかわりが増え玩具を共有したりごっこ遊びをしている姿も見られる一方、噛み付きやひっかきのトラブルも続いてしまっている ・発熱や鼻炎など体調を崩す子が増えている		・簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・気温の高い日には泥んこ、水の感触を味わい、楽しむ。 ・友達と触れ合いながら、いろいろな遊びを楽しむ。		5(月)、19(月)英語 8(木)歯科健診 12(月)避難訓練 16(金)おやつバイキング 30(金)誕生会	生活の流れがわかり、自分でやってみよう という「やる」と言える姿が増えている。 夏休みあそびは楽しんでできたが、製作や家のあそびを楽しめた。	
内容		環境構成		保育士の配慮	取り組みの状況と保育士の振り返り	
生命・情緒 健康・人間関係・環境・言語・表現 養護・教育	・梅雨期の湿度や温度の上昇による体調不良に注意する。 ・安心してすごせるよう時間に余裕をもった活動にする ・着替え、歯磨き、手洗い、排泄などの方法を知り、自分でやってみようとする ・汗をかいたら着替えたり、水分補給をする。 ・歯の大切さを伝え、磨き方を丁寧に知らせていく。 ・気温の高い日には泥んこ、水の感触を味わい、楽しむ。 ・保育者や友だちに親しみをもち、自分の思いや気持ちを言葉で伝える。 ・梅雨期ならではの生き物や自然に親しむ。 ・生活や遊びの中で必要な決まりや、約束がある事に気付く。 ・リズム、リトミックを通して体を動かす楽しさを知る。 ・七夕を知る。また、七夕飾りや夏祭りに興味を持ち、様々な素材を用い、製作活動を楽しむ。	・清掃を十分にし、清潔を保つ ・コーナー保育を充実させ、ひとりひとり遊び込める空間にする ・椅子を用意したりして安全に行えるようにする ・着替えのしやすい洋服の用意を保護者をお願いする ・ジャグなどお茶が届けやすいようにする ・やり方が目で見てわかりやすいようにする ・歯の模型やシアターを使用する ・トラブルになりやすい子の近くに保育士が付き、死角ができないようにする ・散歩にでかけ自然と触れ合えるようにする ・子ども同士が近づき過ぎてケガをしない様に十分なスペースを確保する ・季節に合った絵本や図鑑を用意する ・自分のものとお友だちのものが混ざらない様箱などを用意する。出来上がった物を子どもたちの見えるところに飾る		・こまめに視診・検温をする ・子どもの言葉に丁寧に对应し安心感を与える ・手順を丁寧に伝える ・保育士が側で見守り危険の内容にする ・汗で着替えがしにくくなるため援助する。水分補給をこまめに声掛けする ・明日の活動を伝え、子どもたちが楽しみにできるようにする ・一人ひとり丁寧に関わる ・一人ひとりの気持ちを受け止め他の子に伝わりやすいよう必要な時には保育士が仲介する ・安全に散歩に行くための約束や楽しく遊ぶための約束などくりかえし伝える ・保育士もいっしょに楽しみながら参加する。無理なく参加出来る様一人ひとりの様子を見守る ・製作では工程を多くし過ぎず、子どもたちが達成感を感じられるようにする	・咳、鼻水が止まる子が増えている。 ・家でやっていた遊びの時間を多くとり、よくあそびが展開していた ・特に着替えたり、トイレの順序を覚え、習慣づいていこうと思う ・気温の低い日が多く泥んこや水あそびは楽しんでできたが、製作や家のあそびに ・サボテンやワグ尾虫に興味を持ち図鑑を見たり観察をしている ・近くを歩いたりしてよく歩く事で、足や手を動かす姿が見られた ・製作では、おひらきや七夕飾りなどを楽しめた	
	食育	・楽しい雰囲気の中で友達や保育士と一緒に食事をする ・箸の使い方を知り、使ってみようとする	・席順など配慮する ・スプーンも用意し無理のないようにする		・保育士も一緒に食事をする ・正しい箸の持ち方や椅子の座り方など少しずつ伝えていく	・友達と一緒に食事をする姿が見られる ・正しい箸の持ち方や椅子の座り方など少しずつ伝えていく ・箸の使い方はまだ難しい子が多い
				地域とのかかわり	家庭との連携	
				・散歩先などで挨拶をする	・用意してもらう物に関してはお便りなどでわかりやすく説明する ・伝達の漏れのないよう担任以外にも引き継ぐ。バス利用の子は特に連絡ミスのないよう気を付ける	
				長時間保育		
				・体調の変化に留意する ・室温の調節をする		